

## 2. 本計画における八戸市の人口予測の考え方

表4のとおり、「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における人口推計の傾向を指数(A)として、住民基本台帳における令和元年10月1日現在の人口(B)に乗じたものを将来予測人口とします。

$$\text{将来推計値} = \text{指数}\% (A) \times \text{令和元年10月1日現在の人口} (B)$$

表4：将来予測人口の算定

第2期 八戸市まち・ひと・しごと総合戦略(R2.3)に基づく人口予測結果

年度	八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基礎数値	指数(%) (A)	住民基本台帳 (10月1日)	将来推計値 (A×B)
		R1=100	(B) 228,240	
R1 (2019)	223,372	100	(B) 228,240	228,240
R2 (2020)	221,401	99.1176		226,226
R7 (2025)	212,684	95.2152		217,319
R12 (2030)	204,208	91.4206		208,658
R17 (2035)	195,945	87.7214		200,215
R22 (2040)	187,862	84.1028		191,956
R27 (2045)	179,606	80.4067		183,520
R32 (2050)	171,920	76.9658		175,667

図5は、表4の予測人口をグラフにし、「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において推計されている年齢3区分別人口の構成割合を示したものです。

「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、年少人口(0～14歳)の構成割合は、R12年以降、上昇に転じると推計しておりますが、老年人口(65歳以上)の構成割合は、R27年まで上昇傾向が続き、4割近くを65歳以上が占めることになると推計されております。

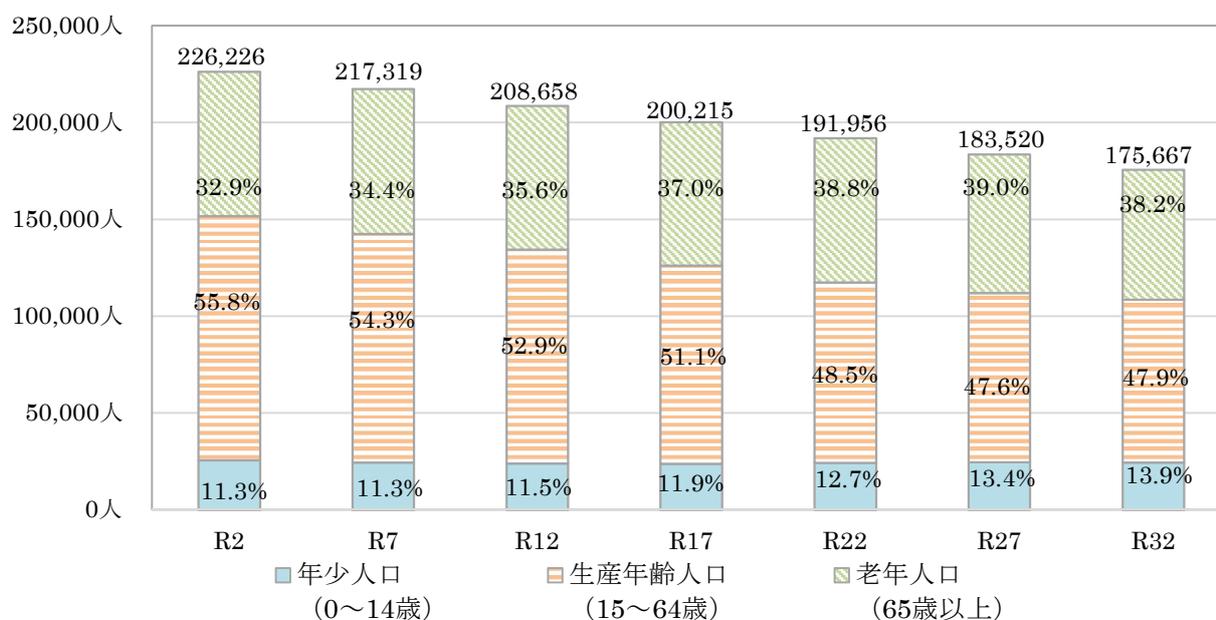


図5 年齢3区分別人口の構成割合